

「今日の診療 CD-ROM」 Vol. 7

小倉第一病院・院長

中 村 定 敏

書評と言うには少々こだわりを感じる。なぜなら、もっぱら気になるのは使い勝手なのである。書評と言うより、ソフト評に偏ることをまずもってお断りしておきたい。

この CD-ROM 版には、(1)「今日の治療指針 1997 年版」(付録の一部を除く全頁を収録)、(2)「今日の治療指針 1996 年版」(付録を除く全頁を収録)、(3)「今日の診断指針第 4 版」(付録を除く全頁を収録)、(4)「今日の小児治療指針第 11 版」(付録を含む全頁を収録)、(5)「今日の整形外科治療指針第 3 版」(付録を含む全頁を収録)、(6)「臨床検査データブック 1997-1998」(全頁を収録)、(7)「治療薬マニュアル 1997 年版」(付録を除く全頁を収録)、(8)「今日の救急治療指針」(中毒の項を収録)…の 8 書籍が収載されている。しかも、新価格は 49,800 円であり、旧価格 65,000 円から大幅な値下げである。初版からのユーザーとしては、値下げで更にユーザーが増えることは大変嬉しいことである。

そこで新規購入予定者を多分に意識したソフト評としたい。

CD-ROM 版の最大の利点は、検索の迅速化である。診療の質を高めるためには、診断→検査→診断→治療→薬剤の効能効果…などでの評価

や計画が欠かせないところであるが、瞬時にしかも自由自在に必要な情報に到達できるので、省力・省時間の効果は著しいものがある。

その情報も文字、写真、動画、サウンドと多様である。特に動画、サウンドは書籍では求められないものである。

省スペース効果も大きく、ブック型パソコンであれば、外来の診察机や、ナースステーションにも持ち運びができるので、いつでも手軽に使用できる。特に内容の加工ができるので、カンファレンスの資料などに利用しやすい。必要部分のみ印刷し、列車やバスでの通勤時間を利用して情報整理をするという方法も実際である。

特に、かかりつけ医を目指している実地医家にはお勧めしたい。患者負担が増えれば増えるほど、医療機関を選択しようという意識が高まるし、選択基準の上位には“医療機関がいかに適時的確な医療情報を提供するか”がある。かかりつけ医であれば、自分の専門分野以外の相談を受けることにもなる。時間に余裕があれば、それに応えるべきである。CD-ROM から情報を取り出し、患者と共にそれを読み、あるいは解説を加えることで患者の安心と満足が

得られると思う。

CD-ROM の操作は極めて簡単である。パソコンの価格も下がって、購入しやすくなっており、負担感もさほどでない。診療の合間に世界紀行や美術の CD-ROM も楽しむことができる。

大方のユーザーは改版のたびに購入されていると思うので、必ず、どこかに改良が加えられていることはご承知のことであろう。改めて付け加える必要はないと思うが、Vol. 7 ではディスプレイ上では、大きな画面が見られ、色も鮮やかである。

CD-ROM の類いは、今後記録容量の高い製品が次々に開発されてくると思われる。写真、動画、サウンドの部分を大いに増やせる余地が生じる。患者に説明するための音声付きのわかりやすく、楽しいイラストもあればいいと思う。出版社には今後とも、使いやすさと、可能性の追究をお願いしたい。

- Macintosh 版 新規版 定価(本体 49,800 円+税) 〒600
 - Windows 版 新規版 定価(本体 49,800 円+税) 〒600
- (おののちに、連続購読・隔年購読専用・学生レジデント専用があります)

医学書院 刊(☎ 03-3817-5657)